

実技科目の通信講座（2001年から開講！ 実技に特化した濃厚講座）

気象予報士試験受験支援会の通信講座 実技講座のメニュー

① 実技完全 A コース・・・実技総合対策

（定員制：7人程度）合否判明後に受講申し込みも可能

（テキスト3冊・作図養成テキスト・実力養成提出課題13事例、気象学的解説は勿論のこと、音声による試験対策としての解説も付属・課題返却時には試験アドバイス書、さらに弱点補強要望票6枚＝使用法は学習の手引きに詳細表示があり、例えば、1枚で前線解析事例を1つ要望、他にも新たな実技事例問題・解説書のご要望が要望票2枚で1事例可能です）総合力構築して試験合格を目指します。このコースでは受講生の約75%が実技合格を達成したコースです。

② 実技演習 B コース・・・実技13事例演習

（教材のみ：・質問付加・提出有りなどのコース有り）

③ 作図対策コース・・・作図中心の独学教材（独学できる解説で低価格）

300hPa強風軸解析3事例 / ASASアジア地上解析補助線解析2事例 / 地上天気図等圧線作図2事例 / 地上前線解析5事例（閉塞前線2事例含む） / トラフ解析3事例
トラフ解析（54回試験類似パターン1事例） / 台風中心解析 / SSI算定+作図：2事例 / シアライン解析3事例 / ウィンドプロファイラ解析3事例 / 断面図解析2事例

④ 事例演習コース（1事例から可能）

教材のみコース・・・問題・解説解答の教材

教材+質問コース・・・質問のみ3個可能

提出添削コース・・・提出・答案用紙に添削・題意アドバイス書・質問3個

提出個人答案音声 CD コース・・・提出・添削は講師音声 MP3CD 解説付属・

題意アドバイス書・質問3個

★申込用紙：P48～51（メール添付、または当会返送が必要なページ）

受講希望者は、申込用紙を印刷して記入し、当会へ普通郵便でご郵送下さい。郵送でなくてもコピー貼り付け（ワード文書・PDF）メール添付でも構いません。メールでご連絡頂ければ、申し込み用紙の添付、ご住所に申込用紙のみ郵送もできます。ご入金後は、メールで連絡頂いても無連絡でも構いません。受講料のご入金と契約書受信または必着が確認されてから、7日以内（土日含め）に教材を福岡から発送します。（必着はさらに1、2日後）

★学科科目★

学科科目は低価格で初心者は苦手な方も十分に配慮した音声講義データ付属の教材もあり。（0スタートで7割が1回目受験で合格した実績のある教材と音声講義を使用。教材のみ、質問有りコースなど選択可能、資料は別です）

開講以来、実技専門講座として 24 年目

気象予報士試験受験支援会は「**実技の専門講座**」として 2000 年 4 月に開講致しました。原則として試験日から 1, 2 か月ほどの期間において実技完全 A コースの募集を中心とし、様々な実技（学科もあり）通信講座メニューがあります。是非、熟読して適切な講座を必要ならばご検討下さい。

有数の実技合格実績（日本一少人数→合格率／受講生数を評価して下さい）

当会の実技 A コースは、半年毎に最近では 5~10 人、昔は 30 人程度の少人数制で募集を繰り返してきました。受講の段階で学科 2 科目合格の人、1 科目のみ合格の人、過去に学科合格履歴したものの免除が切れた人など様々で全体の 3~4 割が他社講座受講済みの方のようです。また、学科 2 科目クリアしないと実技の採点が行われないうえに、実技講座受講生全員が実技採点を受けられるわけではありません。本コースは学科に関しては受講生側の自己責任となりますのでがんばってほしいと思います。（**学科も、安く素晴らしい教材あります**）

学科 2 科目クリアで実技採点となった人は、支援センター統計で約 20%が実技合格しますが、当会の実技講座の実績として受講後 1 回目の合格率が 2 倍以上の 50%以上、2 回以内では 70%前後、最終的には 75%程度となっています。

実技完全 A コースは 2011 年末（1~22 期）までに 614 人が受講し、2 回以内
の受験では確認できただけでも 438 人が合格を果たしています。（試験機関公表では学科 2 科目合格していても、実技合格率は 16~24%です）

なお、実技完全 A コースの実技合格者の最年少は 11 歳（小学生）、最高齢は 69 歳です。下表は実績データ（抜粋）です。中学生も一発合格・高校生、芸能人、有名テレビ気象キャスター等も多数含まれます。（**中学 2 年生も 1 発合格体験談有**）
開講からトータルで 600 以上が合格！受講生分母が少ないので高合格率！

本試験回数	「A 実技完全コース受講後 1 回目で実技合格」した数	
第 34 回試験	学科 2 科目合格者 27 名中（19 期生）	16 名合格
第 33 回試験	学科 2 科目合格者 23 名中（18 期生）	12 名合格
第 32 回試験	学科 2 科目合格者 20 名中（17 期生）	13 名合格
第 31 回試験	著書業務為募集枠 15 名募集定員 学科合格 8 名中 4 名合格	
第 30 回試験	学科 2 科目合格者 17 名中（15 期生）	10 名合格
第 29 回試験	著書執筆業務重視のため募集せず	
第 28 回試験	学科 2 科目合格者 21 名中（13 期生）	11 名合格
第 27 回試験	学科 2 科目合格者 19 名中（12 期生）	10 名合格
第 26 回試験	学科 2 科目合格者 24 名中（11 期生）	11 名合格
第 25 回試験	学科 2 科目合格者 24 名中（10 期生）	15 名合格
第 24 回試験	学科 2 科目合格者 22 名中（9 期生）	17 名合格

大手は安心・小規模は不安？

大手講座は年間数百人単位の受講生が集まります。その中で本当に何割が合格したのか？公表している講座はみられません。分母の数が不明だからです。当会は、HP上でも多くても10人程度の募集というように分母が決まっています。少人数で徹底してやっていく！というスタンスです。是非とも本当の合格実績を参考にしておいてほしいと思います。合格体験談は既に正式に440通以上頂いています。全部HP上の公表を同意得ていますが、大手のように無限に集め、利益優先ビジネスの業態とは異なるため一部しか掲載していません。「気象予報士試験受験支援会」で検索し、合格体験談をご覧くださいませ。

実技完全Aコース：合格実績を得るには？（実質的に質問は制限ありません）

受講価格に対して、他社が真似のできない解る音声解説も付属

実技は総合的に徹底して対策する他ありません。講座も多数あり、その中で受講生側がコストをかける価値とはなんでしょうか？テキストや教材を送り、これをやって下さい、解らないことは質問状12枚を使って送って下さい。でしょうか？確かに昭和の時代ではこれが普通でした。

インターネットで検索すると、5～20万円台以上の講座が多数あります。実技完全Aコースは7万9千円という価格です。確かに受講生からみれば安くはありません。ですが他社の同額またはそれ以上（2倍3倍）の講座と比較しても、受講生が学習する際におけるアフターフォローが当会はかなり違います。多くの講座ではテキスト+提出課題⇄復習や質問という形態でしょう。当会の実技完全Aコースは、テキストは勿論、気象学的解説の他に試験的な論述面のアドバイスが非常に詳しく、かつ具体的に行います。

しかも、この価格帯で業界初（大手は経費的に絶対真似できない）の音声解説の提供を付加します。（昔の合格実績は音声が無い時代のものですから、音声CDの有無で合否率の影響はありません。音声解説は課題復習時に役立つものとお考えください。なお、音声解説はSDカードまたはCDなどに入れます）

質問は、改めて質問状に書かずとも、答案用紙の余白や裏面に書いても構いません。勿論、自分で質問を箇条書きにまとめ同封しても構いません。答案用紙の余白に書いた受講生の質問やコメントにも書面で回答・解説していきます。

（解答用紙余白に書く確認コメントや質問に制限はありません。但し、質問状に箇条書きして、別途同封する質問数は1事例当たり5個までです）質問規定はありますが、実質的には殆ど制限ないような状況です。これまで質問が足りないというご意見は一度もありませんので安心して下さい。

講師音声解説の媒体は？（以下から1つ選択）

■実技完全 A コース（標準で付属）

- ①音楽再生用 CD（音楽を聴く CD プレイヤーや PC で再生可能）
- ②データ用 CD（パソコンで再生可能・スマホに入ればスマホで再生可能）
- ③SD カード（4GB であれば、量販店で 500 円程度）・・・受講生自信が購入
SD カードとは、2.5cm×3cm、厚み 2mm 程度のプラスチック製です。もちろん、一般的なマイクロ SD でも勿論可能です。

音声データは、CD プレイヤーや PC で再生可能な**音楽用 16bit 形式**（容量が膨大 GB 単位）、PC やスマホ等・音楽アプリで広く使われる**MP3 形式 128KB 圧縮データ**（体感的な音質の劣化は殆ど感じない）です。

①②は当会が準備します。③を希望する場合は受講生側で管理、1 回目提出時に同梱する必要性があります。②③の場合、パソコンで管理すると設問毎のインデックスを付けますので管理がしやすいメリットがあります。（解答用紙に同封して普通郵便で提出可能）音声データ形式は、音楽用・MP3 形式選択可能！

昨今、どのような業界でも厳しさが増していると思います。実技講座もそうでしょう。教材を売ってあとは自分でやって下さい～、質問があるときは質問して下さい～、で受講生の心を掴む講座といえるのでしょうか？

当会では他社がやらないことも行い受講生の実技内容の理解を容易にします。それが音声解説です。

CD 音声は CD や DVD 教材ではありません。実技 13 事例分の提出課題において、それぞれの考えた方・重みのさじ加減、論述方法はどうすればよいのか、講師が直接声で解説やアドバイスをを行ったものです。受講生は返却された音声を聴きながら効率的に迷わずその事例を徹底復習できます。実技事例の解説書自体は、詳しく解るように書面で 16～30 ページずつ 13 事例分あります。

音声解説は、2012 年 3 月から試験的に導入したのですが、受講生側は大変喜んで頂きました。復習がやり易い、頭に入るというご意見が大変多くみられました。実技試験の採点は厳格且つ厳しくなっています。配点の低い空欄問題や読み取り、知識モノの正解率がどんなに高くても合格基準である 66%～70%ラインを超えることは困難です。これらの問題に加えて、論述問題を半分以上正解することで 75%以上の正解率に達することができます。

各講座の詳細内容の説明

■実技完全 A コース (79,000 円)

分割払い時：初回 50,000 円、以後月末毎に 10,000 円×3 回

(業界初！講師の解説や解釈の加減など音声をつけて返送、ここが違う！)

教材 1：

テキスト：

①：実技のための基礎知識

実技に必要な知識を中心にまとめたテキストです。A4 版で文字は 12 ポイントで大きくて学習しやすくなっています。

②：実例天気図の見方

初学生にも好評である各天気図の見方を説明したテキスト。鮮明な各種天気図に 3 色カラーで示しながら基礎的な着眼・解釈の方法を解説。

③：題意の表現法と質問集

過去問から判断される記述式設問の対応を試験的観点から重要な項目をまとめています。記述解答の減点を防ぐためには絶対に必要です。細かい使用語句を確認して試験的観点を慣れておくことが大事です。

④：作図系の基礎知識集

前線解析、強風軸解析、断面図解析、トラフ解析、エマグラム解析、などを事例毎に基礎解析方法を詳細解説。まずは、教科書的な基本を押さえましょう。市販書には無い試験レベルでの説明。前線解析は着眼点や解釈も含めています。

学習方法：

テキストの学習は、①と②を教材必着後優先的に学習し、その後は実技提出課題 13 事例を提出して頂きます。返却を待つ期間にテキスト③④を学習します。

テキストの内容はごく標準的な内容になっています。難解な内容は殆ど無く、知識や天気図の着眼、関連学科科目の復習を中心に行います。1 日 2 時間学習できる方は、2 時間×12 回程度でテキスト①②を修了できます。

教材 2 : 実力養成用の提出課題 13 事例

	使用事例	出題内容	合否基準
実技01 基礎	低気圧 Sコース② 2011年2月	地上観測・読み取り・移動速度・トラフ作図・渦度・鉛直流解析・水平温度移流・前線解析・前線作図・予想解析・注意すべき現象	72%
実技02 応用 (新作)	台湾低気圧 Yコース③ 2013年1月	地上概況把握・鉛直流・渦度・移動量解析・衛星画像解析と根拠・エマグラム解析・低気圧盛衰予想・防災上留意・波浪予報	62%
実技03 応用	急速に発達する低気圧 Uコース① 2012年4月	2012年4月事例：地上概況・読み取り・強風軸作図・衛星画像解析・現象・水蒸気画像の解釈・温度場解析・予想解析・閉塞期解析等	65%
実技04 応用	山陰の大雪 Tコース① 2011年1月	地上概況・シア解析・波浪解析・衛星画像解析・シアライン作図・防災上留意点・予想現象・潮位・高度線作図・予想解析・災害	62%
実技05 応用	冬型 Sコース⑤ 20XX年12月	地上概況・衛星画像解析・気団変質・乾燥域の原因・成層状態・エコー解析・アメダス解析・GPV資料解析・天気の詳細・現象名	65%
実技06 応用 (新作)	梅雨 Xコース② 2012年7月	地上概況・衛星画像解析・相当温位・留意事項・前線作図(4つ)・災害・エマグラム・前線作図の根拠・地形性降水の予想	64%
実技07 応用	北東気流② Vコース④ 2012年7月	概況・衛星画像解析・日照解析・等温線作図・寒気流入解析・エマグラム解析・時系列予報の解釈・風の局地性・不安定現象解析など	60%
実技08 応用 (新作)	寒冷渦(竜巻ナウキャスト)Sコース 2011年4月	レーダー解析・衛星画像解析・安定度・強風軸解析・断面図解析・層厚・ドップラーレーダー解析・シア解析・激しい突風の緊急時対応・注意報の役割・不安定性の予想など	65%
実技09	日本海低気圧 Xコース③ 2012年12月	梅雨前線の動向・注すべき現象・激しい突風・レーダー解析・雷雨の移動・解析雨量・局地シアライン解析・大雨予想精度評価	65%
実技10 応用	南岸低気圧 (北東気流) 超重要事例	地上実況解析・衛星画像解析・寒冷前線解析・北東気流の解析・ウインドプロファイラ・低気圧の盛衰予想・降水の種類判断解析・東京の時系列天気予報・その他	61%

続き

実技 11 応用	台風① Uコース② 2011年9月	地上概況・衛星画像解析・進路予想図解釈・ 気圧降下の根拠・温帯化の解析・鉛直 P 速度 の換算・前線解析・上陸の場所と根拠・降水 の根拠・その他	66%
実技 12 学術的 出題	台風 Tコース③ 2011年9月	気象学的見地での問題展開事例 台風の実況・気圧傾度・傾度風概念・眼の直 径・雲形解析・雲の分布・勢力と海面温度・ 強風軸・移動速度・温度構造（水平・鉛直）・ 断面図解析・層厚・相当温位・波浪図・高波	63%
実技 13 解析・ 現象・ 予想的 出題	台風 Tコース④ 2011年9月	実況・予想・災害観点での問題展開事例 地上実況把握・相当温位と風の把握・降水域 の変化・地形性効果・3地点のウインドプロフ ァイラ・地形と風の盛衰・地点別時系列観測 データ解析・局所的な風・土砂災害・土砂災 害警戒情報	64%

★事例演習の多くが、2011年以降最近の事例で学べます。他社にはない新しい事例教材です。実際に試験において、当会制作が先で同じ日の事例テーマや出題形態も多数ありました。

★提出課題を返却時には、**試験的アドバイス書**＋**丁寧な添削**があります。
（解答用紙の余白に、受講生の考え方・質問・コメントを書いても構いません。
返却時には**音声解説 CD**も付属し、復習時にお聴きすることを勧めます。）

★当会事例問題は、本試験より論述等の問題が多くなっています。試験で余裕も持って太刀打ちでき、且つ合格基準を突破するためには、解析の理論・予想の根拠をどうしても完璧に理解しておくことが大切です。空欄問題だけでは配点が低く総得点は伸びないのです。このため、本試験と比べるとやや難しく感じる部分がありますが、解説において初心者にも理解できるようにプロセスを明確にしていますので安心して学べます。また、講座を受ける大きな意義はここにあります。

嬉しいポイント：解答用紙余白に質問・確認・コメントなど記入 OK！

簡単な自分の意見や解法、疑問、確認コメントは解答用紙余白に書いても OK！です。質問状に書くまでもない「素朴な疑問」や「コメント」、「確認など」を記入して提出しても OK です。もちろん回答・解説して返送します。資料解説が必要な場合は書面で解説返答致します。わざわざ質問状を作る時間も節約できて便利です。

教材 3：要望票 6 枚付属！（実技完全 A コースのみ付属）

「要望票」とは質問票とは異なります。

実技科目は非常に専門的な科目ですから受講生の弱点も多種多様であり、学習が進んで行くと自分自身の新たな弱点が出てくる場合もあり本格的に別途、受講生に合わせた解説やアドバイスが必要な場合があります。そんな時に使うのが要望票です。以下に要望票の使い方の例を挙げましょう。

使い方の例：

例 1：過去の本試験の問題を解いたので添削して欲しい。要望票 1 枚で実技問題 1 問分を添削し当時の配点に従い採点します。採点と解答用紙に添削コメントを記入します。その他の対応はありません。例えば、第 34 回試験の実技 1 と実技 2 を提出する場合は要望票 2 枚必要です。（音声無アドバイス・題意書はありません。質問は 2 個まで OK です）

例 2：閉そく前線の事例問題をやってみたい。要望票 1 枚で学習にふさわしい事例から問題と解説を送付します。試験的に解いてみて解説で復習されて下さい。それでも疑問があれば質問して下さい。

例 3：過去問や他の講習会の実技に関する問題や過去問についての質問をしたい。質問 1 つにつき 1 枚消費します。（過去問の直接質問は要望票扱いになりません） 過去問でなくて、一般的な実技に関する質問は要望票不要です。

例 4：その他、実技に関する様々な要望にお応えします。（超マニアック類、要望票の指導に非現実的）以外は殆ど対応します。メールで相談下さい。

例 5：自分は学科試験も受験するので、学科科目の模試と解説を送って欲しい。今回から新しく加わった要望可能内容です。要望票 2 枚で一般知識または専門知識の問題・解説 30 問（または 45 問）を送付いたします。（但し、一般の法規関連は含まれません）一般・専門両者の場合は 4 枚必要です。（初心者にもわかる解説書付属・質問は不可。模試は当会制作問題）

これはお得！：賢い「要望票」の使用例：

13 事例を提出し終わった後に、受講生が苦手な分野の本試験の形態・難度である本試験仕様の事例 (H/J/K/L/M/N/O/P/Q/S/T/U/V/W/X その他最近制作事例コースから希望の本試験仕様事例番号を1つ：コース全体ではありません) を希望する事も出来ます。(但し、独学：質問はメールでOK) です。

事例は1問が独学でも販売価格が2,100円~4,000円ですから要望票6枚あれば3事例分も無料希望できます。台風・梅雨・低気圧あたりの主要テーマ事例を希望してはいかがでしょうか？

(希望事例は、ご希望時にメールで相談してOKです)

例：Hコースの中で事例①寒冷渦を希望 (1つの事例で要望票2枚使用)

メールやお手紙による対話で孤独感の排除

当講座では「対話」も大事に考えていますので、是非、受講期間中のご意見などもお待ちしております。要望票の使い方が解らない場合や、ご意見なども提出の際やメールにてお問い合わせ下さい。実技課題を提出の際にお手紙などで感想なども同封されてもOKです。学習相談やお悩みもメールでお気軽にどうぞ！

質問規定：

質問規定1：(神経質になる必要性はありません。安心して下さい)

実技完全Aコース (事実上制限無)

過去問の質問：

本来は完全制限無しとしたいのですが、このようにすると、ごく一部の受講生が仲間内と共同で膨大な質問を行う事が過去に有りましたので少しだけ規定を設けています。過去問の質問は要望票1枚で1個まで可能です。要望票以外では質問できません。この規定は講座運営側の立場としてのご理解をお願いします。どうしても規定を付けないと、ごく一部の受講生が膨大な過去問の質問を行い、他の受講生の対応に影響があるためです。講座の価格も可能な限り低くしていますので、ご理解宜しくお願いします。

質問規定2：

単独質問郵送の場合：

一度に質問を郵送できる質問個数は3つまでです。その質問回答が返送されたら新たに質問を3つ郵送できます。(質問のみ郵送の場合)

添削課題と質問同封の場合：(1事例に対して5つの質問同封可能)

添削課題を1つ提出する時に、その課題1つ関連する実技に関する質問は5つまで同封できます。課題提出に関連する質問同封は過去の提出課題関連でも

よいし、5 つまでならば自由ということです。(返却物を見て復習し、次回提出時に1事例当たり5つの質問をその時に同封しても構いません)

なお、解答用紙に簡単なコメントや質問は5つに含めません。5つの質問とは提出課題に添える質問状という形で別途同封する質問個数をいいます。

質問例

- ① 実技1・2の2つを解いて解答用紙と質問を7個同封した。→OK
(1事例に同封する質問は5つ迄OKです! 2事例提出のときは10個迄OK)
- ② 提出した提出課題の解答用紙はまだ戻って来ないが、実技3・4を解いたので、解答用紙と実技3・4に関する質問を7つ同封して郵送した。→OK
(添削課題と同封する質問の提出は、以前の提出物の返送がまだでもOKです。)
- ③ 実技に関する質問が3つあったので質問のみを郵送した。→OK
(質問だけを送ることを「**単独質問**」という。単独質問は質問が3つまでです。又、新たな単独質問は提出済みの回答が戻ってきてから行えます)
- ④ 実技に関する質問を単独で3つ送って、まだ回答はもらってないが、新たに質問だけを2つ郵送で送った。→不可
(単独質問は、回答がもどってきてから新たな質問が3つまで可能です)
- ⑤ 実技に関する質問を3つ送って回答が戻って来た。新たに質問だけを3つ送った。→OK
(単独質問の回答が戻ってくれば、新たな単独質問は3つまで送付OK)
- ⑥ 質問のみを7つ送った。→不可 質問は1回の送付で3つ以内です。
- ⑦ 簡単な質問なのでメールで行った。→OK 15個まで無料です。
(メールで質問するときに、1回のメールで質問は1個となります。メール質問は15個まで質問OKです。1回の送信で2個質問のときは2個消費)
- ⑧ 学習方法や講座に関する質問や返送状況・ご意見などはいつでも郵送時に同封したり、メールをご利用したりしても構いません。メールはこのような項目はカウントしません。メールはお気軽に意見交流や学習の相談としてもお使い下さい。

★携帯電話・スマホのメールから質問：（15 個まで OK）

こちらは PC から 24 時間任意に返信しますので、夜間の携帯電話・スマートフォンの受信設定を必ずご確認ください。携帯に質問回答を返信するときには、必要な解説図を容量小さくして添付することもあります。

質問を送信して数日待っても返事が無く、再送信して 2, 3 日返事がない場合は、受信設定が拒否となっていると思われます。

このように少し規定はありますが、個人の学習の上では事実上制限ない規定です。実技完全 A コースは、20 年以上実力養成として通信講座をやってきました。初心者や中級者など大勢の受講生が過去に解り難い箇所はご質問を頂き、その都度解説は最適化してきました。

ですから、質問がまったく無い方もおられます。答案の余白に質問や確認したいことは自由に書き込み可能です。質問数が足りないということは皆無ですので安心して下さい。

教材 4：切手ミニ講座（希望者のみの実技ミニ教材）

実技課題 1～13 を提出するに当たって希望者には提出の際の封筒に「168 円分切手 2 枚同封」すればミニ講座（作図系を中心）を返送時に 1 つ同封します。申し込み時に一覧表がありますから、希望する課題提出時の時だけ 168 円分の切手を同封すれば OK！好評で返送時に喜ばれる内容が多くなっています。

作図系の知識は受講生によって大きな差があり、必要・不要がありますので、このように別に超格安（印刷・発送費用のみ）でご提供しています。切手講座は実技 13 問に対応して 13 回分あり、全て希望すると別の詳細な作図系テキストと同等の内容になり、実技解析力の向上に大きく役立ちます。

提出課題が返送されるまでは復習の他に、希望の切手講座で作図・実践的な実技学習をするのも効率的です。

A コース切手ミニ講座 実技課題対応：

1 つ希望（168 円分の切手を同封）、2 つ希望であれば（336 円分の切手）を同封して提出すれば OK)

提出課題 対応切手ミニ講座（予定）

- 実技 1：カラー前線解析事例（作図系・問題・解説別）
- 実技 2：渦中心特定実践（根拠）
- 実技 3：鉛直断面図解析（作図系）
- 実技 4：強風軸解析事例（作図系）

- 実技 5 : ウインドプロファイラ関連 (作図・記述)
 - 実技 6 : 災害・注意報・警報資料
 - 実技 7 : 停滞前線解析 (作図系)
 - 実技 8 : トラフ作図解析 (作図・問題・解説)
 - 実技 9 : シアライン解析事例 (作図練習)
 - 実技 10 : 南岸 L の降雪と低気圧の移動コースの対応
 - 実技 11 : 作図問題事例
 - 実技 12 : 前線解析 (作図系)
 - 実技 13 : 波浪・高潮関連問題
- (一部、変更がある場合があります)

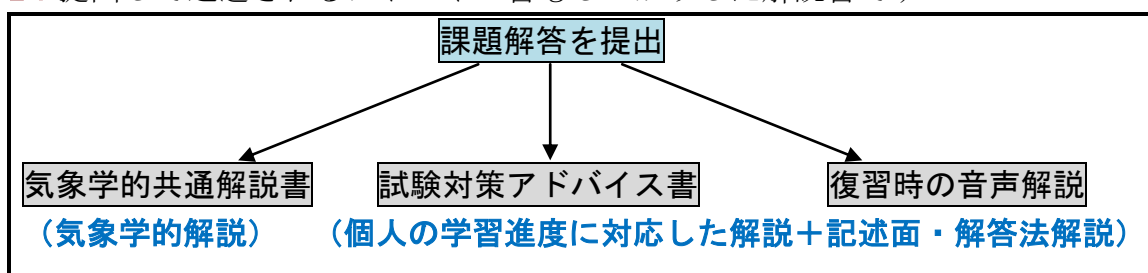
学習用実技演習事例 13 問関連の特徴 (A コースの中核)

1 :

学習に使う実技演習 13 問は現象別に分類できますが、各項目の出題設問構成は系統的に関連付けてありますので、受講者の気象学的理解度を添削側が確実に判断できます。これは他講座とは大きく異なる部分です。単なる採点により得点を出すだけの講座とは異なり、理解出来なかった部分を 100%理解するように解説する、そのためには図や資料を使い分かりやすく説明する。これらの積み重ねで、本試験でどのような問題が出題されても柔軟に正確に解答を導くことが出来るようになるのです。

また、各実技問題には解説書がありますが、これとは別に数ページに及ぶ題意解説を同封いたします。これは解答例とは異なる解答の判断、予報士試験としての解答法、題意の着眼というように試験観点や解釈に重点をおいた学習アドバイスを盛り込んでいます。

2 : 提出して返送されるアドバイス書もしっかりした解説書です！



このように 3 方向の解説により、どのようなレベルの方でも理解は容易

3 :

添削後返却される解答用紙と各解説によって、少しでも疑問があれば必ず次回提出時に質問同封されて下さい。必要に応じて更に詳しく解説致します。

4 :

提出する解答用紙の余白に分からない所や、詳しく説明して欲しいところ・「私はこのように判断しました！」などというコメントを受講者が書き込んでおけば、コメントに応じて特に詳しく解説して返送いたします。新たに質問する時間が省けます。

提出課題の提出は2事例ずつ？

実技課題は、学習効率のために2事例ずつ提出を推奨します。2事例ずつ提出すると速達での返送が基本となります。

返送物の復習の間に、新たな2事例を提出しておくタイムラグを無駄にしません。最後の⑬は単独でも構いません。

もちろん1事例ずつ自分のペースで学習していきたい方は1事例ずつの提出で構いませんが、返送は普通郵便になります。

その他の特徴

受講者の提出課題により、弱点やアドバイスした項目が一人一人受講者の受講記録に記載されますので、弱点分野が改善されている状況が分かりやすくなっており、正に個人指導方式です。実はこの事がとても重要だと考えます。気象は専門的な学問ですから、受講者の学習進度や形態も様々です。1人の受講入会から終了までの記録をしっかりと把握する事によって学習をより必要とする項目が明確になり受講生が苦手分野を作らない指導ができるのです。ですから定員制となっているのです。13問の学習用実技演習を全て極める事により、資料に慣れる・記述の表現・気象解析法が同時に効率的に学習できます。

実技完全Aコースに適した方 (学習自体は3~4か月で可能)

- ①：受講生の学習レベルは気にしなくても構いません。(初心者~上級者対応)
講師がレベルにあった個人指導を行います！但し、学科一知識の合格、若しくはそれに近い学力が必要です。専門知識と実技は同時学習が可能です。
- ②：受講期限は10ヶ月ですので、学科科目と同時学習や実技(知識・天気図・資料)に早めに慣れておきたい方の受講コースとしても最適です。はじめの

半年はマイペースで実技の知識を増やし、残りの受講期間で課題事例を全力学習というパターンもあり3割の受講生はこのタイプです。

- ③：次回に「絶対合格」する事が希望である方は、テキスト学習に1ヶ月～1ヶ月半くらい、事例提出13問に週2問徹底学習ペースで2ヶ月くらいと、3ヶ月で一通り終了し、残り期間で弱点補強と総復習というパターンです。

(1日間隔で1.5～2時間、土日はいずれかを5～6時間の学習が標準的です)

- ④：実技の解析力・着眼力・応用力・作図力・試験的観点の全てを徹底して学習されたい方や、予報士取得後を考えての方は、Aコースが適切なコースです。通学と全く同等の実力が定着しますし、教材自体が通信教育での独学の立場を考えた解説を行っていますし、初心者～上級者までの学習進度を気にする事も不要です。解説は6か月ごとの受講生の質問状況で更新され、最適化されています。

よくある質問：実技Aコース

学科試験の勉強はしているのだけれど、現在は学科が合格していません。A実技コースの学習は可能でしょうか？

回答：(一通り、一般知識や専門知識を学習して、6割以上理解していれば可)

実技の内容は学科科目の3割程度重なっています。実技の学習によって、学科科目の理解度が深まる部分も大いにあります。

さらに実技は資料の「慣れ」が必要な科目です。受講期間は10ヶ月ですので2回の試験をほぼカバーしていますから次回試験突破目標の方、今回は学科突破目標の方も自分の目標に合わせて学習できるでしょう。

万一、学科科目の学習を優先して実技科目に手が回らなくなったり、お仕事上の都合で次回試験目指した実技学習ができなくなったりしたときはメールにてご相談下さい。有効期間が足りない場合は無償で延長致します。(実技課題をすべて提出していない場合のみ)

なお、教材のキャンセルは出来ませんのでご注意ください。訪問販売や電話勧誘での購入はクーリングオフ制度が2週間ありますが、ご自身で案内資料を読み、ご自身で申込された場合において、クーリングオフ制度は法的にも御座いません。この点は申込時にご確認下さいませ。

学習の手引き：

詳細な学習の手引き書も付属していますので学習の際に参考下さい。実技の方、学科と平行の方な標準的なプランを表示しています。

申込方法：

この資料を郵送でご請求された方は、試験合格判明後に申込することが可能です。また、メールで PDF 資料請求された方も同様です。試験合格発表後 2 週間以内に受講希望時においては申込して下さい。

教材発送までの流れ

①：

申込契約書に必要事項を記入または入力して、当会へ郵送またはメール添付して下さい。

②：

また、受講料のお振込みをお願いします。振込先口座は申込契約書の前ページ付近にあります。

③：

①と②の 2 点を確認でき次第、教材を 10 日以内に福岡から郵パックにて宅配発送します。必着はさらに 2, 3 日程度かかります。受け取り時間指定のある場合は、北日本の地方では最大 3 日後になることがあります。

ご注意：

質問は実技科目に関連する内容と 13 問の演習関連限定となります。過去問の質問は、A コース付属の要望票 1 枚で 1 回可能です。

ここまで実技完全 A コースの解説でした。

■実技Bコース(Aコースと同じ13事例のみ)

- ① : 13 事例提出・添削付属コース (52,500 円) 一括払いのみ
- ② : 13 事例教材のみ+質問 13 個コース (40,000 円) 一括払いのみ
- ③ : 13 事例教材のみコース (32,500 円) 一括払いのみ

使用教材 :

実技演習 13 問 (実技完全 A コースと同じ事例)

問題 13 事例分、解説書 13 事例分、試験アドバイス書 . . . ①

問題 13 事例分、解説書 13 事例分のみ ②③

質問は事例 13 に関する事や、実技関連の内容に限ります。質問は 15 個まで可能です。

このコースでは、既に相当の実技学習をされて気象学については十分に理解しているのに、何故か「実技」の突破が出来ない方にお勧めです。

このような場合は、予報士試験レベルに照準を合わせて解答する力を構築することが大事です。気象庁予報官の一部が初受験して予報士試験に落ちる理由は、実は知っている事を詳細（高度）に書きすぎて出題者の要求する解答を得ていない事が原因です。

また、当講座の学習用実技問題 13 問は記述式設問構成を多く配置しています。実技合格基準は平均点によって合格ラインが変化するために相対的な基準で判断されますから、合否の分岐は「記述式設問・作図系設問」で決まるといっても過言ではありません。深い学習を既にされている方には、このコースで十分です。提出課題指導はA完全コースと同じように「共通解説・個人解説・添削指導」の3方向から行いますので万全です。

ご注意 :

質問は実技科目に関連する内容と 13 問の演習関連限定となります。直接過去問の質問はできません。また、音声解説も付属していません。

■作図コース 2020 年秋制作

第 50 回気象予報士試験～第 57 回試験に出題の殆んどをカバー。作図の基礎は理解しているつもりの方に中上級スキルを習得するための内容です。

作図対策集メニュー（問題編＋解説編）別々の構成

解説は図解が多く、明確にやり方を手順として説明します。速く、正確に作図や解析ができるように解説は明記してあります。

対策内容：

300hPa 強風軸解析 3 事例
ASAS アジア地上解析補助線解析 2 事例
地上天気図等圧線作図 2 事例
地上前線解析 5 事例（閉塞前線 2 事例含む）
トラフ解析 3 事例 トラフ解析（54 回試験類似パターン 1 事例）
台風中心解析
SSI 算定＋作図：2 事例
シアライン解析：3 事例
ウィンドプロファイラ解析 3 事例
断面図解析：2 事例

申し込み方法：

①いつでも申し込み可能

②はじめに指定口座に御入金下さい。

価格：

PDF ファイルコース (9,900 円)

印刷物発送コース (11,000 円)



③御入金後に、当会（whitecasteltower@yahoo.co.jp）へメール下さい。

2、3 日以内に対応致します。（土日祝日・年末年始 30～3 日は休み）

郵送希望者は、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載して下さい。メール添付希望者は、その旨メールに含めて下さい。

入金先口座：

福岡銀行 高宮（たかみや）支店 普通 口座番号 1447521

口座名義人：気象予報士試験受験支援会 代表：荒山 幸裕

■事例演習コース (1 事例当たり、複数購入も可能)

(本試験仕様の事例を使用)

独学用教材のみコース (1 事例 3,960 円)

問題・解説解答書の教材・音声解説 MP3 形式音声 (60~120 分程度)

独学用教材のみコース+質問 2 個 (1 事例 4,510 円)

問題・解説解答書の教材・音声解説 MP3 形式音声 (60~120 分程度)

個人レッスン答案添削しながら音声アドバイスコース (1 事例 5,500 円)

問題・解説解答書の教材・別途音声解説 MP3 形式音声 (60~120 分程度)

+個人レッスン添削時の新規作成音声 MP3 (60~120 分程度)

提出・答案用紙に添削・[あなたの答案添削中の解説音声 CD](#)・答案用紙の余白に確認したいこと、質問は自由に書き込めます。その書き込みにも音声でアドバイスや回答します。

備考：

1 事例でも複数事例でも希望受講できます。○事例×価格となります。

事例は次のコースから選択できます。

例：U コースの事例① . . . 1 事例分

例：P コースの事例②、P コースの事例③ . . . 2 事例分

★希望事例は、メールで事前に相談確認しても OK です。内容的に適切でない事例を選択の場合はアドバイス致します。最近制作の素晴らしい本試験仕様かつ応用性の広がる事例学習が可能です。

当会メール：whitecasteltower@yahoo.co.jp

右メールアドレス UR コード



(2 種類存在する気象予報士試験受験支援会のメインのホームページ左 UR コードから読み取り可能)
最新事例一覧表は、HP の事例演習コースをクリック。

実技事例別コース一覧表：送料別途 370 円（レターパック代金）

価格は 1 事例分のものです

2N コース（2 事例有り）

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問 3 個	教材・質問・添削
<p>本試験仕様の問題形式（①②）</p> <p>事例①：2017 年 04 月 17 日 21 時初期時： 春の日本海低気圧</p> <p>地上概況空欄問題・気象衛星解析・低気圧ライフサイクル・大気の流れと低気圧・水蒸気画像解析・強風軸作図・トラフ作図・低気圧周辺の大気の運動・前線と温度場・寒冷前線と鉛直流・局地エコー・局地エコー計算・局所の降水短時間予報・注意現象・地上前線作図・低気圧とトラフの関係予想・東海地方の大雨予想の根拠・昇温と現象・波浪予想</p>	<p>3,960 円</p> <p>問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説（CD に MP3 形式で設問毎の解説）</p>	<p>4,510 円</p> <p>左記教材＋質問</p> <p>備考： 第 53 回実技 1 で同事例出題されました</p>	<p>5,500 円</p> <p>左記教材＋あなたの答案の音声解説 CD もプラス</p>
<p>事例②：2017 年 10 月 22 日 21 時初期時： 台風 21 号</p> <p>地上概況・台風の気象衛星解析・対馬海峡と鳥取周辺の気象衛星解析・ウィンドプロファイラ解析・水平温度移流解析・鉛直速度解析・鳥取上空の大気の鉛直解析・紀伊半島線状エコーと風の場合・シアライン作図・強降水エコーの根拠・台風進路予想・暴風域の影響予想・上陸予想・台風気圧場の変形の根拠・台風の温帯化・台風の風の場合の変化予想・台風周辺の大気の予想・低気圧と高度場予想・低気圧の盛衰予想・局地気象の大問</p>	<p>3,960 円</p> <p>問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説（CD に MP3 形式で設問毎の解説）</p>	<p>4,510 円</p> <p>左記教材＋質問</p>	<p>5,500 円</p> <p>左記教材＋あなたの答案の音声解説 CD もプラス</p>

注意：

音声解説は PC またはスマホのみ再生可能なファイルです。1 事例当たり丁寧に 2～3 時間程度の解説を収録しています。付属の気象学的な解説書を朗読したものでなく、別途試験的観点の解説を多く含みます。

備考：

本試験仕様の問題とは、最近の試験形態に合わせた出題となっています。

実力養成仕様の問題とは、受験生の実力を養成すること主眼をおいた出題となっています。

送料別途 370 円 (レターパック代金)

価格は 1 事例分のものです

2M コース (2 事例有り)

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問 3 個	教材・質問・ 添削
<p>本試験仕様の問題形式 (①②)</p> <p>事例①: 2014 年 10 月 13 日 09 時初期時: 台風 19 号</p> <p>地上概況・台風進路予想・位置の読み取り・ 温帯低気圧に変わる期間・温帯化エネルギー 論・気象衛星画像解析・雲形解析・温帯 化と大気の運動の予想・鉛直 P 速度解析・ 鹿児島時系列観測解析・台風通過解析・気 象レーダー解析・台風温度場解析・渦度解 析・ウィンドプロファイラ解析・トラフ解 析・温帯化と対流雲の関係・前線解析・波 浪予想・警報</p>	<p>3,960 円</p> <p>問題・解答用 紙・問題資 料・解説書・ 音声解説 (CD に MP3 形式で 設問毎の解 説)</p>	<p>4,510 円</p> <p>左記教材 + 質問</p>	<p>5,500 円</p> <p>左記教材 + あなたの答案 の音声解説 CD もプラス</p>
<p>事例②: 2017 年 07 月 05 日 09 時初期時: 九州北部豪雨</p> <p>(特別警報・朝倉豪雨)</p> <p>地上概況・気象衛星画像解析・解析雨量・ 降水域の解析・水害・土砂災害・ エコー図と予想・対流セル断面解析・速度 計算・相当温位計算・相当温位鉛直傾度・ 安定度・地形野影響と気流・冷気層・特別 警報</p>	<p>3,960 円</p> <p>問題・解答用 紙・問題資 料・解説書・ 音声解説 (CD に MP3 形式で 設問毎の解 説)</p>	<p>4,510 円</p> <p>左記教材 + 質問</p>	<p>5,500 円</p> <p>左記教材 + あなたの答案 の音声解説 CD もプラス</p>

注意: 音声解説は PC またはスマホのみ再生可能なファイルです。 1 事例当たり丁寧に 3 時間程度の解説を収録しています。付属の気象学的な解説書を朗読したものでなく、別途試験的観点の解説を多く含みます。

送料別途 360 円 (レターパック代金)

価格は 1 事例分のものです

2L コース (1 事例有り)

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問 3 個	教材・質問・添削
本試験仕様の問題形式 事例①：2016年12月22日09時初期時： 低気圧 地上概況・海上警報・霧・霧の成因・バルジ雲・渦度と強風軸・閉塞と強風軸・低気圧周辺の大気の運動・低気圧の予想・トラフ解析・前線解析・金沢における観測解析・フェーン・風害・850hPa 気温予想・前線面解析・雪密度・降雪と交通障害・札幌の降雪の要因・沿岸波浪予想・	3,960 円 問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説 (CD に MP3 形式で設問毎の解説)	4,510 円 左記教材 + 質問	5,500 円 左記教材 + あなたの答案の音声解説 CD もプラス

MP3の音声ファイルとは、現在最もよく使われている形式です。ネット環境で音楽をダウンロードして再生するとき、PC やスマホでもこの形式です。音声データは CDR に収録して送付します。PC をお持ちでない場合は、インターネットショップのアマゾンで以下を検索して下さい。3000 円台から様々なプレイヤーがあります。

アマゾン購入ができない場合は、当会が代理で購入することも可能です。(機器台の代金を先に頂いて)

検索ワード→ mp3 cd プレーヤー



アマゾンから引用：一部です。

送料別途 360 円 (レターパック代金)

価格は 1 事例分のものです

2K コース (3 事例有り)

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問 3 個	教材・質問・ 添削
本試験仕様の問題形式 (事例①②③④) 事例① : 2016 年 08 月 30 日 09 時初期時 : 台風 10 号 地上概況・気象衛星画像解析・雨量観測の分析・850hPa 風解析・地形効果・強風軸解析・渦度・500hPa 高度場・シアライン・鉛直 P 速度・台風に対応する渦度の追跡・台風北上と相当温位・気候風土・地形の特徴・大雨の災害・台風と風の強さ・波浪予想・潮位変化関連	3,960 円 問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説 (CD に MP3 形式で設問毎の解説)	4,510 円 左記教材 + 質問	5,500 円 左記教材 + あなたの答案の音声解説 CD もプラス
事例② : 2016 年 06 月 21 日 21 時初期時 : 梅雨と大雨 地上概況・相当温位の読み取り・水蒸気画像解析・相当温位の鉛直傾度・団塊状雲と降水エコー分布の関係・トラフ作図・渦度・実況と解析雨量・降水のスケールと解析・災害・短時間大雨・積乱雲内の水の相・雷活動度・激しい突風現象・MSM と GSM の降水予想相違・エマグラム解析・相当温位の断面解析・降水予報の実践	3,960 円 問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説 (CD に MP3 形式で設問毎の解説)	4,510 円 左記教材 + 質問	5,500 円 左記教材 + あなたの答案の音声解説 CD もプラス

注意:

音声解説は PC またはスマホのみ再生可能なファイルです。1 事例当たり丁寧に 3 時間程度の解説を収録しています。付属の気象学的な解説書を朗読したものでなく、別途試験的観点の解説を多く含みます。

2K コースは、次ページへ続く

2K コース続き

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問 3 個	教材・質問・添削
<p>事例③：2016年02月24日09時初期時： 記録的寒波</p> <p>地上概況・気象衛星画像・JPCZ 解析・シア解析・強い上昇流の根拠・トラフ関連・寒気の吹き出しによる雲解析・雲と天気変化・可視画像解析・湿潤層解析・3種のエマグラム考察・湿潤層の変化・トラフ作図・降水量予測・下層と中層の寒気・凍結の被害・気象レーダー解析・メソじょう乱解析・メソじょう乱留意事項・ウィンドプロファイラ考察・温度風関連・不安定層</p>	<p>3,960 円</p> <p>問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説（CD に MP3 形式で設問毎の解説）</p>	<p>4,510 円</p> <p>左記教材＋質問</p>	<p>5,500 円</p> <p>左記教材＋あなたの答案の音声解説 CD もプラス</p>

注意:

[音声解説は PC またはスマホのみ再生可能なファイルです。](#)1 事例当たり丁寧に 3 時間程度の解説を収録しています。付属の気象学的な解説書を朗読したものでなく、別途試験的観点の解説を多く含みます。

送料別途 360 円（レターパック代金）

価格は 1 事例分のものです

2J コース（4 事例有り）

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問 3 個	教材・質問・添削
<p>本試験仕様の問題形式（①②③④）</p> <p>事例①：2014年10月05日09時初期時： 台風 18 号</p> <p>地上概況・台風情報・気象衛星解析・台風雲システム・前線と雲分布・鉛直 P 速度・850hPa 温度場解析・下層風の場合・渦度・進路予想の解釈・台風内断面解析・断面相当温位解析と根拠・台風へ流入する気流・一般流・トラフ関連・台風の温帯化・地形性降水・台風による大雨・ウィンドプロファイラ考察・台風中心位置解析・前線解析・指定河川関連・洪水関連</p>	<p>3,960 円</p> <p>問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説（CD に MP3 形式で設問毎の解説）</p>	<p>4,510 円</p> <p>左記教材＋質問</p>	<p>5,500 円</p> <p>左記教材＋あなたの答案の音声解説 CD もプラス</p>

事例②：2015年04月14日21時初期時： 不安定な天気 地上概況・気象衛星解析・水蒸気画像とジェット気流・降水エコー考察・解析雨量・ホドグラフ・エマグラム考察・巨大雷雨関連・寒冷渦関連・断面図考察・気温減率・寒気・渦度追跡・竜巻注意情報関連・不安定降水関連・積乱雲の留意事項・	3,960円 問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説（CDにMP3形式で設問毎の解説）	4,510円 左記教材＋質問	5,500円 左記教材＋あなたの答案の音声解説CDもプラス
---	--	-------------------	----------------------------------

注意：

音声解説はPCまたはスマホのみ再生可能なファイルです。1事例当たり丁寧に3時間程度の解説を収録しています。付属の気象学的な解説書を朗読したものでなく、別途試験的観点の解説を多く含みます。

2Jコース（4事例有り）

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問3個	教材・質問・添削
事例③：2010年07月14日09時初期時： 梅雨 地上概況・気象衛星解析・雲頂高度解析・渦度・温度場・鉛直P速度・降水エコー考察・梅雨前線の物理的検証・メソL・エマグラム考察・SSI・温度移流・降水観測・水害・土砂災害・降水過程・前線解析作図・現象の予想・前線動向・サブハイ・	3,960円 問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説（CDにMP3形式で設問毎の解説）	4,510円 左記教材＋質問	5,500円 左記教材＋あなたの答案の音声解説CDもプラス
事例④：2014年08月09日21時初期時： 台風11号 地上概況・気象衛星解析・地形効果・台風影響・地形効果詳細・台風最接近考察・突風比・降水エコー考察・台風と異なる降水系・台風とトラフ・850hPa前線解析・現象の予想	2,200円 問題・解答用紙・解答例・問題資料・音声解説（CDにMP3形式で設問毎の解説） ★解説書は無し	3,300円 左記教材＋質問	この事例は、 添削コースは無しです

注意:

音声解説は PC またはスマホのみ再生可能なファイルです。1 事例当たり丁寧に 3 時間程度の解説を収録しています。付属の気象学的な解説書を朗読したものでなく、別途試験的観点の解説を多く含みます。

W コース (4 事例有り)

事例コースと内容	教材のみ	教材・質問 3 個	教材・質問・添削
事例①: 2012 年 04 月 9 日 09 時初期時: 動きの遅い低気圧 第 57 回実技①に関連類似問題複数有り 地上概況・気象衛星解析・雲形解析・リッジ作図・長時間強風・気圧傾度算出・注意報・降水エコー・下層の風の場合解析・雲と相当温位の場合・地形性効果・降水予想と予報文・地形と気流・波浪 事例は古いですが、57 回試験と同等問題多数有り	3,960 円 問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説 (CD に MP3 形式で設問毎の解説)	4,510 円 左記教材 + 質問	5,500 円 左記教材 + あなたの答案の音声解説 CD もプラス
事例③: 2012 年 09 月 15 日 21 時初期時: 台風 16 号実況解析編 地上概況・台風進路図解釈・温度風と前線帯・台風の温度場構造・暖気核の根拠・地上風と台風中心・突風率の相違と根拠・地上観測と台風の位置の関係・数値予報の限界・気象衛星解析	3,960 円 問題・解答用紙・問題資料・解説書・音声解説 (CD に MP3 形式で設問毎の解説)	4,510 円 左記教材 + 質問	5,500 円 左記教材 + あなたの答案の音声解説 CD もプラス

ここまで、実技完全 A コース、B コースで使用する 13 事例との重

複は有りません。

.....
これら以外にも実力養成用の事例は数十事例あり、1 事例から教材を購入することも可能です。

当講座の添削例（Aコースを含む全ての事例演習での添削指導方針）

問1

(1) ある相当温位の鉛直傾度解析の問題で・・・

×	上	層	は	相	当	温	位	が	低	く	、	下	層	は	高
	い	の	で	対	流	不	安	定	で	あ	り	、	大	気	の
	安	定	度	は	悪	い	状	況	。						

0/6点

○：得点対象 △：得点対象無関係±0 ×：減点対象または不正解

返却アドバイス例：

対流不安定層の理解を確実にしましょう。対流不安層とは、上層ほど相当温位が低い成層または下層ほど相当温位が高い成層をいいます。上層が低く、下層が高いという説明では、2 高度間の大小比較であり、不適切な論述です。対流不安定層は、相当温位が上層ほど次第に低くなるという勾配（傾度）について厳格に書くことが重要であり、これ以外は不正解扱いです。

また、対流不安定層であるとき、大気の静的な安定性は不安定ではありません。大気の気温減率で判断できる安定性はむしろ安定になります。返却物に対流不安定層がどういうメカニズムで不安定化するのか？について解説していますので理解、さらに論述のためには正確な語句が使用できる状態にして下さい。

このように受講生が記述した解答を一文単位で添削します。記述解答は必要なキーワードを使い、理論的に筋が通る解答を行っているかが加点ポイントです。実際に完全独学で学習されていた方の解答は、1～3 割程度の減点要素があります。これは専門家から指摘されて修正していく他ありません。当会では第1回～3回までの気象予報士試験を制作・採点基準を担当した気象庁OBの方のマニュアルを基に、本試験と同様の採点（加点法・減点法）を行い、何故、減点なのか、得点にならないのかを明確に指摘致します。

他社では「概ね良い」「悪い」とか、「もう少し筋を通そう」とか、「A」とか、「B」などのように抽象的なアドバイスが多いものです。また、講師自体が気象予報士試験の実技科目で70点前後程度しか正解できないような方も多いもので

す。70点強の講師からは70点強のアドバイスが上限でしょう。添削指導とは、得点が何点だったという事よりも、何故？この記述は点にならないのか？この記述のどこが悪いのか？これらを具体的に指摘してもらって、正しい記述力を構築する事にあります。これは気象学の再確認にもつながる大切な指導でもあるのです。是非、第三者から客観的な記述指導と題意の捉え方を学んで、実力を100%出し切る答案作りができる様に添削指導を受けて欲しいと思います。得点はどんなに悪くてもここではよいのです。添削の段階では30点や40点でも構わないのです。

他社にはない試験題意書 例えば返却題意解説の一例を見て見ましょう。解答用紙を提出すれば、必ず以下のような題意書（試験観点）を解答用紙に添削コメントの他に返送されます。全ての添削コース共通。

ある事例での題意書サンプル

問1:

(1)

地上実況図の概況や読み取りなどの空欄式設問である。ここはアドバイスをするとするより、知識や暗記事項を確実に覚えて下さい。(掛け算九九のように速く解答できるくらい) それしか方法がありません。あと、低気圧中心気圧を読み取る場合などは、虫眼鏡を持って行って下さい。実技は時間との勝負でもあり、脳を必要以上無駄なストレスで浪費してはもったいないです。虫眼鏡が無くても解答はできますが、読み取るストレス(負荷)が軽減できます。空欄③は中心に破線の等圧線(2hPa 毎)がありますから、中心気圧を読み取るには、これに気づくのも容易でしょう。

(2)

ここは大変意外でした。85%の方が「海上濃霧警報」と書かれています。正解は海上強風警報なのですが、警報表記が無い場合は波線の種類で判断するので、この学習で気づいて頂ければ幸いです。

注意したいのが海上警報の基準を述べる場合です。本事例の海上強風警報の対象海域は地上の等圧線がある程度集中して風が強い状態だと図1の実況で判断できます。という事は、既に海上強風警報の基準を満たしていると推測も出来ます。よって、まずは海上強風警報の基準を正確に書きましょう。解答指定字数にほぼ収まりこれ以上書くことは出来ません。このように解答字数指定を考慮して、出題者の題意を読むことが知識の設問ならば明確に可能です。実況時に等圧線も込んでいないときは、今後24時間以内に海上強風警報の基準に達するような強い風が吹くことが予想されている、と解釈できます。

当会オリジナル事例問題構成を見てみましょう（サンプル）：

2016年12月22日9時初期時：事例①

問題と問題資料

100%拡大印刷：全カラー印刷

2Lコース：事例① 低気圧

参考制限時間 75分

次の資料を参考に各問題に答えよ。ただし、UTC または Z の付加した時刻は世界協定時刻を表し、日本時間はこれより9時間進んでいる。問題文において特に断りのない場合は日本時刻である。各設問に関しての指定字数は概ねの目安であり、若干の多少は構わない。

御注意！

この問題著作権は、気象予報士試験受験支援会に帰属します。無断で2次的使用・譲渡・複製を厳重に禁じます。発見時には相応の著作料を請求する場合がございます。但し、個人の学習時についてはこの限りではありません。

氏名： _____ 採点 / 100 点 (72 点以上が望ましい)

本試験余裕合格基準

2016 年 12 月 22 日から 23 日にかけての日本付近における気象の解析と予想に関する以下の問いに答えよ。予想図の初期時刻は 12 月 22 日 9 時(00UTC) である。

問 1 (41 点 : 合格基準 35 点以上)

図 1 は 12 月 22 日 9 時の地上実況図である。また、図 1 下には鹿児島とチェジュ島の地上観測と低気圧情報英文が表示してある。これらを用いて日本付近および日本周辺の気象概況について述べた次の文章の空欄に入る適切な語句または整数値を答えよ。なお、単位が必要なものは表記せよ。

- (1) 日本付近の気象概況や気圧配置に関連した解説について述べた次の文章の空欄(①) ~ (⑯) に入る適切な語句または数値を答えよ。単位が必要な場合は付記せよ。

日本海の北緯 38 度、東経 131 度には、中心気圧 1000hPa の (①) の低気圧があって (②) ~ (③) の速さで進んでいる。この低気圧に対して (④) 警報が発表され、24 時間以内に低気圧周辺の最大風速が (⑤) に達する予想である。

一方、日本の遙か東海上には、1032hPa の高気圧があり (⑥) ~ (⑦) の速さで移動している。22 日 9 時の実況段階では、上記低気圧との間で等圧線間隔が (⑧) く、西日本と北陸地方にかけて (⑨) よりの風が強く吹きやすい。

また、地上観測に着目すると、(⑩) 前線の前面にある鹿児島島は、気温は (⑪) 、風向は (⑫) 、現在天気は (⑬) 、気圧変化量は (⑭) である。

チェジュ島では、気温は (⑮) 風向は (⑯) 現在天気は (⑰) 、気圧変化量は (⑱) となっている。この観測結果から (⑩) の前面と後面にみられる (⑲) は物理的な性質が異なる。

解答欄：

①：	②：	③：	④：
⑤：	⑥：	⑦：	⑧：
⑨：	⑩：	⑪：	⑫：
⑬：	⑭：	⑮：	⑯：
⑰：	⑱：	⑲：	

1点×19=19点(この設問の合格基準17点以上)

(2) 日本周辺は、「ア：東日本から北日本の東の破線内海域」と「イ：東シナ海や黄海」に海上濃霧警報が発表されている。これらの海上で発生または発生が予想される霧の成因を考慮した霧名を答えよ。また、それぞれの霧が発生しやすい根拠を地上気圧配置との関連性に着目し、相対的な海面温度との高低を含め気象の状況をアは30字程度、イは40字程度で述べよ。

(当時の海面温度：東シナ海から黄海は、20℃～10℃、三陸沖から千島の南海上では、15℃～3℃であった)

ア：東日本から北日本の東の破線内海域の霧について

霧の名称： _____

2点 (合格基準2点)

発生根拠：

3点 (合格基準2点以上)

イ：東シナ海や黄海の霧について

霧の名称： _____

2点（合格基準2点）

発生根拠：

3点（合格基準2点以上）

(3) 図2は気象衛星赤外面像である。この資料に基づき、以下の解説文の空欄に適切な語句を解答欄に記入せよ。また、必要であれば関連資料を参照せよ。

図1の日本海の低気圧の北から北東側には、輝度状態が(①)で、且つ明るい(②)性の雲域が広がっている。この雲域の北縁部は(③)曲率も持ち、多くの場合で上層の(④)の少し南側に沿っているとみられる。一般にこのような雲域を(⑤)という。(⑤)は、地上から(⑥)が高緯度側の上層へ傾き、その(⑦)を(⑧)空気が滑昇し、断熱膨張による冷却のために水蒸気が昇華して(⑨)雲が生成されることで生じる。(⑤)の北縁部が(③)曲率をもつということは、この雲域の(⑩)側では必然的に、大気の流れに(⑪)曲率を生じる。このため低気圧は今後(⑫)すると予想できる。

解答欄：

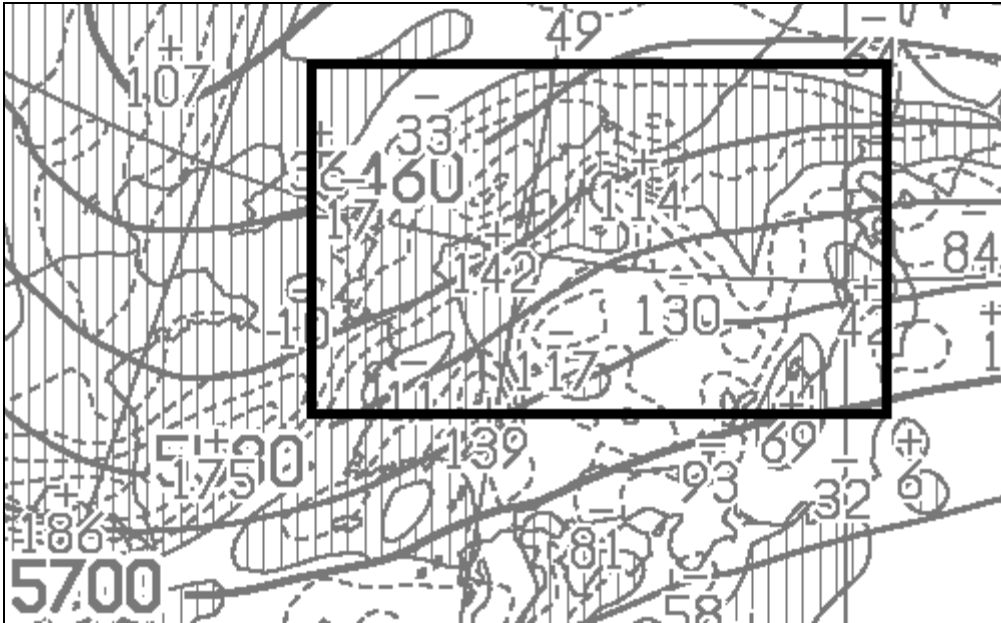
①：	②：	③：	④：
⑤：	⑥：	⑦：	⑧：
⑨：	⑩：	⑪：	⑫：

1点×12=12点（この設問の合格基準10点以上）

問 2 (11 点 : 合格基準 5 点以上)

図 3 は 500hPa 高度・渦度の解析図、図 4 は 850hPa 気温・風、700hPa 鉛直 P 速度の解析図である。これらと図 1 を用いて以下の問いに答えよ。

(1) 図 3 の太枠内に渦度分布から解析できる強風軸を太→で表示せよ。



3 点 (合格基準 2 点以上)

(2) 図 1 の日本海の低気圧中心は、前 (1) で解析した強風軸の位置に対してどのような関係にあるか。以下の選択肢から記号で答えよ。また、その結果から低気圧はどのようなライフ段階にあるか選択肢から選べ。

選択肢 : 強風軸と低気圧の位置関係

- a : 強風軸のやや高緯度側にある
- b : 強風軸付近にある
- c : 強風軸のやや低緯度側にある

解答 : _____

2 点 (合格基準 0 点以上)

選択肢 : 低気圧のライフ段階

- d : 閉塞直前
- e : 既に閉塞している
- f : 閉塞の兆候無し

解答 : _____

2 点 (合格基準 0 点以上)

(3) 図1の日本海の低気圧は発達する予想である。その根拠を850hPa風・気温と700hPa鉛直P速度の解析資料(図4)を参照して、低気圧周辺における鉛直流と水平温度移流の状況をそれぞれ簡潔に述べよ。

鉛直流について :

2点(合格基準1点以上)

水平温度移流について :

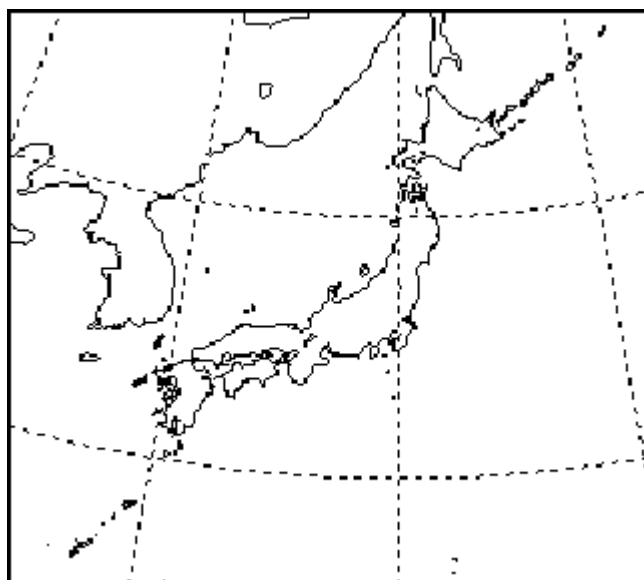
2点(合格基準2点以上)

問3(16点:合格基準10点以上)

図5~図6は500hPa高度・渦度(上)および地上気圧・降水量・風(下)の12、24時間予想図、図5~6は850hPa気温・風, 700hPa鉛直P速度の12、24時間予想図である。これらと図1を用いて以下の問いに答えよ。

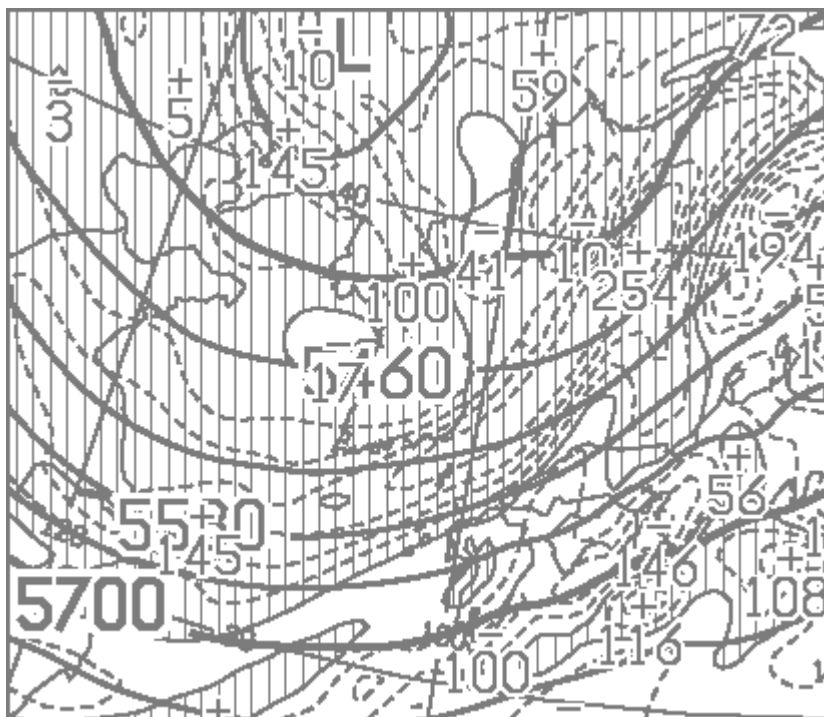
(1) 図1で日本海の低気圧において、12時間予想・24時間予想の中心位置を下の地図内に×で表記せよ。また、中心気圧の予想も記せ。

注意: 表記方法 T=12
 × 972hPa

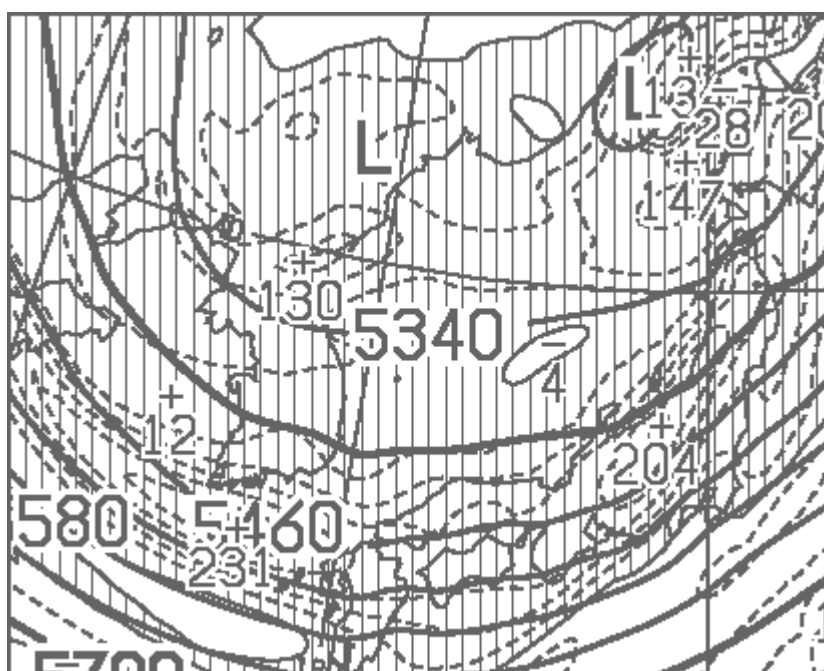


1点×4=4点(合格基準4点)

- (2) 下の図に 12 時間後の日本海の低気圧および 24 時間後の渡島半島西海上の低気圧と結びつきが強いトラフをそれぞれ太実線で1つずつ解析せよ。
 但し、解析する等高度線は、12 時間予想は 5,400m~5,520m、24 時間予想は 5,340m~5,400m とする。



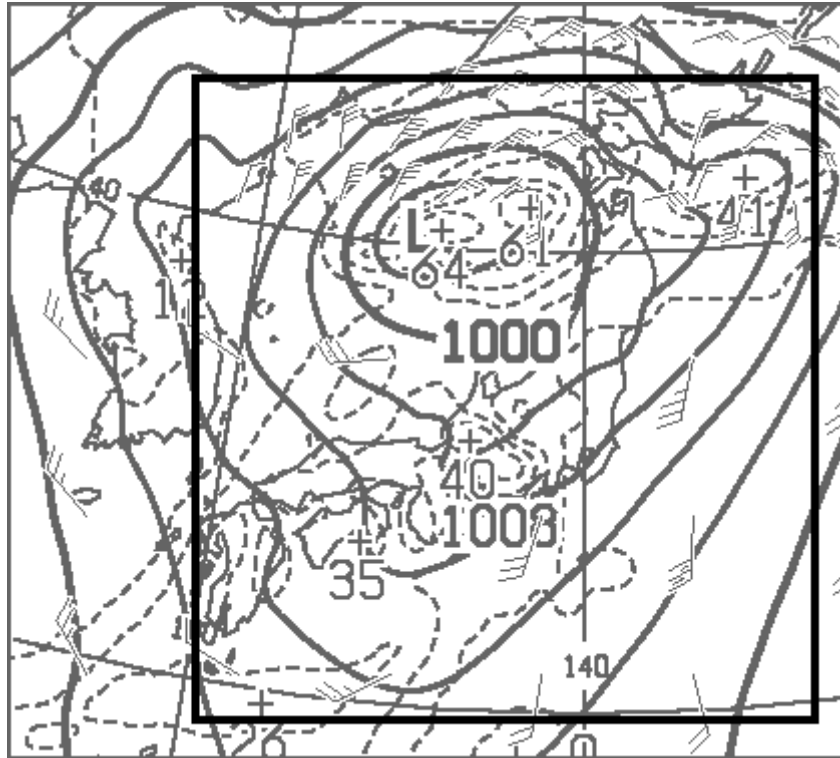
12 時間予想



24 時間予想

上 3 点、下 3 点×2=6 点 (合格基準 3 点以上)

(3) 12 時間予想資料 (図 5 の地上気圧と風と降水量予想、図 7 の 850hPa 気温・風、鉛直 P 速度、図 9 の 850hPa 相当温位・風) 下の 12 時間地上予想図枠内に前線記号を用いて解析せよ。



6 点 (合格基準 3 点以上)
1 点ずつ減点法で採点

問 4 (27 点 : 合格基準 19 点以上)

図 11 は金沢における地上観測資料、図 12 は北海道周辺の気象レーダー観測資料、図 13 上は札幌の高層気象観測資料、同資料下は北海道石狩支庁周辺の降雪量分布、図 15～図 16 は札幌の地上観測資料である。これらの資料に関する次の問に答えよ。

(1) 図 11 は金沢における地上気温・湿度 (%)・風 (10 分平均) の観測資料である。また、図 1 の寒冷前線が金沢を通過したのは 12 月 22 日 19 時頃であった。次の問に答えよ。

- ① 金沢では、12 月 22 日 10 時～同日 18 時の期間で南または南西の風が概ね 10m/s 以上に強まった。この理由を図 1 地上天気図および問 3 (3) の解答から低気圧の影響や位置関係を含め 35 字程度で述べよ。



理由 :

3 点 (合格基準 2 点以上)

- ② 金沢の 12 月 22 日 10 時から 19 時の気温の状況と湿度 (湿乾判断もすること) の関係を簡潔に述べよ。

解答 : _____

2 点 (合格基準 2 点以上)

③ 金沢の 9 時から 10 時の気温上昇量を整数で求めよ。また、その上昇量になった根拠を①の考察および図 1 の気圧配置や同期間中の風観測および地理的な条件から発現した現象名を 50 字程度で説明せよ。なお、金沢では 22 日の日中の日照は 0 であった。

上昇量 _____℃

1 点 (合格基準 1 点)

説明：

5 点 (合格基準 3 点以上)

④ 金沢では、22 日 17 時に 10 分間平均風速で 16.6m/s を観測した。一般に最大瞬間風速はこの値の 1.5 倍から 2.0 倍といわれている。最大瞬間風速を整数値で求めよ。また、求めた風が吹いた場合どのような被害が想定されるか 2 つ答えよ。

最大瞬間風速： _____m/s ~ _____m/s

1 点×2=2 点 (合格基準 2 点)

被害： _____ ・ _____

1 点×2=2 点 (合格基準 2 点)

(2) 図 14 は北海道石狩支庁周辺における 12 月 22 日から 23 日までの降雪量分布である。これによれば 12 月としては記録的な 48 時間降雪量となった。以下の間に答えよ。

① 図 12 気象レーダー観測資料を参照して、22 日 9 時～23 日 9 時の期間中の札幌付近の降水エコー強度を答えよ。

解答： _____

1 点 (合格基準 1 点)

② 図 15 によれば札幌では 22 日～23 日の全期間で降水は雪であった。一般に温帯低気圧に伴う前線の寒気側において地上降水が雪となる目安は 850hPa で -3°C 以下である。次の気温を 1°C 単位で読み取れ。

ア：図 7 下の 12 時間予想から札幌付近の 850hPa の気温： _____ $^{\circ}\text{C}$

(札幌の位置は●で表示してある)

1 点 (合格基準 1 点)

イ：図 13 の札幌の高層気象観測における 850hPa の気温： _____ $^{\circ}\text{C}$

1 点 (合格基準 1 点)

③ 前問②アの解答によれば札幌は 22 日 21 時の降水は雨の可能性が高いと予想される。それにも関わらず実況では雪であった。この理由を図 13 の気温観測に着目して、850hPa から地上の気温分布に関して答えよ。

理由： _____

2 点 (合格基準 1 点)

④ 図 13 の札幌の高層気象観測によれば、910hPa～800hPa 付近に逆転層を含む安定層がみられる。この安定層は何に対応したものか答えよ。

安定層との対応： _____

2 点 (合格基準 0 点)

⑤ 図 15 上、図 16 上から、22 日 21 時に降った雪密度 g/cm³ を少数 1 位まで求めよ。

雪密度：_____g/cm³ 2 点（合格基準 1 点）

⑥ 札幌では 12 月 22 日 9 時から 23 日 9 時まで地上気温は氷点下が持続した。このような状況下で多量の降雪があると着雪害のほか交通障害が深刻になるおそれがある。交通障害の具体的な災害例を 3 つ答えよ。

交通障害の具体的名：

_____・_____・_____

1 点×3 点（合格基準 2 点以上）

問 5（5 点：合格基準 3 点以上）

図 10 は、日本周辺の 24 時間波浪予想図である。この資料に基づく次の間に答えよ。なお、この資料の初期時は 12 月 22 日 9 時である。

図 6 下 24 時間地上予想によれば、渡島半島の西に発達した低気圧が予想されている。この低気圧からほぼ同じ距離にある北海道の日本海側に面した海岸線付近の予想波高と、東北地方の日本海側に面した海岸線付近の予想波高には大きな相違がみられる。この相違の根拠を 50 字程度で述べよ。

なお、解答の際は、A「北海道の日本海側に面した海岸線付近」、B「東北地方の日本海側に面した海岸線付近」とし、A、B を用いて記述せよ。

根拠：

5 点（合格基準 3 点以上）

以上、問題事例サンプルでした。

最後に この度は当会講座に興味を持って頂きありがとうございます。

元々実技専門講座ですから受講生の学習目標に合わせた様々な講座メニューがあります。本書を熟読し納得された上で受講希望の方は末尾の用紙でお申し込みされて下さい。なお、**当会講座は全て指導の「質」と「対応の速さ」を維持する為に少人数定員制**となっています。当会はお電話などの営業活動は一切行っていませんが、この資料で解らないことが御座いましたら、お気軽に当会にお電話やメールで問い合わせ下さい。(メールは2, 3日以内に返信します)

電 話： 092-716-7030 (午前9時~午後21時頃：外部業務で不在も有)

メール： whitecasteltower@yahoo.co.jp (携帯からも送信可)

小文字 小文字 小文字

郵 送：

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-10-38

気象予報士試験受験支援会

「気象予報士試験受験支援会」の活動について：

福岡市に本拠地を置く「気象予報士試験受験支援会」について説明させていただきます。社団法人気象予報士会西部支部会員の有志によって構成。設立は2000年5月で現在は**22年目**です。主な活動は「気象予報士」を目指す方に資格取得講座を行っていますが、その他にも福岡大学での気象講座、(株)ヒューマンアカデミー福岡校で気象予報士講座、公的機関での天気講座、個人授業、(注意：ヒューマンアカデミー独自教材と当会は一切無関係)、メインの講座部門は気象学指導の他にも、受講して頂く方々に本当に満足の行くようなアドバイスを行い、「**合格して頂く熱意**」を持って、受講生個人の学習立場を考えた指導を心がけています。ただ説明すればよいとは考えず受講生に100%理解出来るような具体的解説を行います。やはり受講生の立場を考えますと「すぐに合格したい」と言う気持ちはあると思います。胸を張って「真の予報士」といえる為にも気象学的解説指導は一切の手抜きはありませんが、気象学は大変に「奥深い学問」ですので、あるレベルで指導方針の一定ラインを引かなければ、受講生にとって膨大な範囲になり大きな負担になりかねません。当会の実技講座は、試験で85点を余裕で得点できる観点でラインを引いて制作されています。予報士試験の基準は「気象学の基礎を確実に理解」「気象学をベースに的確な解析力」「予報業務に足る実務力の基礎構築」であり、この3点を確実に習得する事が出

来る講座内容であれば「試験合格」は自然に付いてくるものです。教材を制作するに当たっては、ごく普通の方々が（気象の専門家で無くても）通信講座形式でも十分に合格できるように様々な配慮がされています。大手の通信講座のように一度の募集で数百名も集めるような通信講座は、広く浅く質問回答もマニュアル的指導体制になりがちです。

当会実技講座のアピールポイント：

気象学見地＋予報士試験見地のダブル解説とダブルアドバイスをを行います。また少人数制講座の中でも特に少人数制ですから、丁寧で速い対応を維持できます。受講生個人の家庭教師を付ける感覚で受講できます。

「実技完全 A コース」は少数定員制指導：（5～15 名程度）

A コース受講生でも 6～7 割程度の方のみが実技採点に至る状況であり、その中の 1/2～2/3 弱程度が過去の統計からも平均的に「一発合格」をしています。だから受講して頂く場合は一生懸命頑張ってください。

（なお、学科講座も科目別に素晴らしいテキストやオリジナル問題集あり）

実技完全 A コースの学習を行うためには、学科「一般知識」の合格者、若しくは過去に合格履歴がある方、または合格のめどが次回試験には大体ある方であれば十分に学習可能です。講座の内容は比較的レベルの高い内容ですが、解説自体は初心者からでも理解できるように具体的に行いますからご安心して下さい。実技講座を学習する事で「専門知識」「一般知識」の関連学習を深める部分も大いにありますから、一般・専門知識の関連分野も学習として平行学習できるでしょう。

定員が少ないメリットはたくさんあります！

①：個別アドバイスが可能（大手は既存質問回答ファイルコピーが主）

通信講座でも受講生のお一人お一人様の学習状況が把握でき、講師側がしっかりと個別管理する事ができ、常に的確なアドバイスを受講生の学習進度に合わせた解説で、合格レベルに向上させることが可能です。当実技講座は既存の質問回答ファイルコピー回答は絶対に致しません。

②：多くの場合において「早い対応」

受講生の質問、要望、学習途中の様々なアドバイスや対策なども殆ど迅速対応できます。盆・正月期には多くの方が連休もあり且つ試験直前ですから追い込み時期です。その大切な時期にも通常通り敏速対応が可能です。北海道の受講生にも敏速対応を喜んで頂きました。(課題2つ以上返送は速達が主)

③：自分の学習レベルを気にする必要はなし！

通信講座であっても超少数定員制だから、個人の家庭教師という感覚で学習できます。受講生の成績など一切気にせずにアドバイスし、向上出来るように対応します。恥ずかしながらに初歩的な内容でも質問をお気軽にして下さい。学習の為に受講しているのですから、今の実力で問題を解き、質問すればよいのです。(当会の屋号は堅いですが、講座は楽しく真剣です)

一般的な実技試験の難易度は？

(財) 気象業務支援センターの合格統計情報では、学科科目2科目合格しても実技で不合格になる可能性は80%前後に及んでいます。これでは統計的に学科が合格しても、さらに5回の実技の採点が行われる受験が必要であると言っているようなものです。万一、学科免除が消滅したり、学科試験を落としてしまったりすれば、それは平均的に2~3年以上も新たに無駄にする時間が出来るといことです。(学習自体は無駄ではありません)

実際、多くの方が実技で苦勞しているのが予報士試験の最大の特徴でもあります。最悪の場合、気象予報士資格取得する目標を断念させる原因となるのが実技科目でしょう。ところが、実際に実技の勉強を進めて行くと、ある程度実力(60点くらい)が付けば「実技の内容が難しい！」と思う事は少なく、むしろこの程度なら何とか出来る！と言う感覚を持つ方が多いのも事実です。それに関わらず実技試験は学科科目2つ合格であっても大多数が不合格になってしまう現実があります。これは何故でしょうか？

それは常に問題配点傾斜が大きいためです。空欄式解答は基本的に1点~2点、基礎論述は3~4点、比較的応用のある論述解答・作図解析は5点~10点となっており、高配点が実技1、実技2において数問程度設定されています。合格の決め手は比較的応用度のある論述解答と作図系の設問の得点率で決まると言っても全く過言ではありません。100点満点で70点以上得点する為には、空欄や読み取り、基本論述がどんなに出来ても難しいということなのです。60点から75点以上に実力UPすることが大変であり大切な学習なのです。これに気付けば徹底した実技の勉強を行う必要性を理解できるでしょう。

必要な解析応用力と試験論述力を定着するには、多くの気象事例経験と添削指導やアドバイスから、真の実力が少しずつ構築できるのです。さらに、多くの事例を勉強するという事は資料にも十分に慣れ、スピード解析力も同時に付いてきます。

受験生の皆様が第一に必要な学習要素は、まずは質の高い多くの事例を学習し、その全てにおいて詳細なアドバイスや解説を行ってくれる講座という事だと言えるでしょう。当会の実技完全 A コースは、A コース 13 問に、要望票や切手講座を使用すれば更に 3 事例を学習でき合計 16 事例を学習します。これだけの数の事例集が付属している講座が他にあるでしょうか？まず、それはコスト的に皆無でしょう。あったとしても解説やアドバイス自体が少ないのです。当会 A コースも実際に受講された方は、よくこの価格で大丈夫なの？（講座内容に対しての価格）などと言われますが、実はギリギリの採算ライン（一切宣伝費カット）で維持しています。講座の宣伝には、結構な経費がかかります。宣伝過剰が目立つ講座は、内容面にかかるコストに注意すべきです。

実技対策に講座をお考えの方は、是非とも当会人気 NO 1 の実技完全 A コースをご検討下さい。通常、営利目的の講座は良いことばかり謳っていますが、当会は 5~15 人超の募集は不要ですので、ここまでありのままを説明しています。

最後に・・・

実技 A 完全コースの受講生は合格者の方が多いですが、その合格者に入るか否かは、受講生の「頑張り」です。生徒のやる気に講師は全力で応援して同じように頑張ります。講座の雰囲気も楽しく真剣に進め、受講生のお声も大事に尊重して学べる雰囲気を大切にしていますからご安心下さい。この高い短期合格率を維持している事は、講座の総合的内容が伴っている真の証拠だと自負しております。個人指導体制の当講座を是非ご検討下さい。

また、過去の受講生の正真正銘の合格体験談（合格証書番号記載）を HP に掲載しておりますので、参考として是非ともご覧下さい。

気象予報士試験受験支援会 代表 荒山 幸裕

重要なお知らせ（A コース内容更に充実の為に半年毎の更新作業）

教材発送は、ご入金と申し込み用紙の必着の 2 点が確認されて、**7 日以内**に福岡を発送します。

当講座では半年毎に、質問の多かった部分をより解り易くするために必要な更新作業をします。この作業は **2 月 1 日**で終了しますので、申し込みの方の教材発送は **2 月 5 日**からになります。半年毎により解り易くする為の重要な作業ですのでご了承下さい。なお、申込みも 2 月 1 日から可能です。

申し込み方法

①：受講料を振り込む ②：申込書を郵送する

①受講料振り込み先（銀行）インターネットバンク関連からのご入金の一部で上手くいかない場合があるようです。その際は銀行にてATMか窓口で直接ご入金下さい。又、ご入金明細書をもって領収書と致しますので大切に保管されて下さい。

●受講料の入金先口座（銀行の場合）

福岡銀行 高宮（たかみや）支店 普通

口座番号 1447521

口座名義人：気象予報士試験受験支援会 代表：荒山 幸裕

●受講料の入金先口座（郵貯銀行の場合）

記号：17420

番号：59184861

口座名義人：荒山 幸裕（アラヤマ ユキヒロ）

②申し込み用紙送り先住所

大変お手数ですが、契約書になりますので以下へ封書でお送り下さい。なお、普通郵便でお送りくださいませ。（配達記録・立会が必要な郵送はご遠慮下さい）

当会の事務所：（送付先）

入金後の御連絡は不要ですが、メールでご連絡頂いても構いません。当会に申込書必着またはメール添付受信後にはこちらで確認いたします。（メール添付の場合は、1～3日以内に正式受理の返信を致します）

〒810-0041

福岡県福岡市中央区大名2-10-38-2006

気象予報士試験受験支援会

電話：092-716-7030

夜21時または22時～23時までは実技講座などご相談も可能です。

Eメール：問い合わせなど

当会メール：whitecasteltower@yahoo.co.jp



当会メール UR コード

教材発送の流れ（御入金と契約書添付または郵送必着後に行います）

①受講料金を入金する。（Aコースは分割納入も可能。初回料金を納入）

夏試験後は9月1日以降、冬試験は2月7日以降に御入金下さい。

（間違っても早く御入金されても大丈夫ですので安心して下さい）

②ご入金後、P49以降の申し込み用紙に必要事項を記入し返送する。

封書による郵送。メールによるPDF添付でもOKです。

③返送時は遅くとも4～5日以内に「申込書」が当会に到着する。

④「入金確認」と「申込書必着」の2つを確認次第、遅くとも10日営業日以内に福岡を発送します。

教材は福岡発送日より、最大3日前後で到着します。時間指定も可能です。土日祝日は福岡から発送しませんので、その分お時間をご猶予下さい。（郵パック便を使用します。申し込み用紙に時間指定欄があります）

受講契約項目 (控え) 返送は不要

受講希望者が募集枠以上居ますので、実技完全 AB コースを受講希望される場合は以下の全ての項目の同意が必要です。同意がある方のみ受講が可能です。署名もしくは捺印して下さい。

署名または捺印： _____

1：確認

2回以内の受験で合格された場合は、合格受講体験談を必ず提出して頂きます。

体験談は気象予報士試験受験支援会 HP などに無期限で掲載する事を承諾して頂きます。但し、氏名については「実名」、「イニシャル」表記を体験談提出時に選択できます。その際に合格証書番号を付加記載する事も同意します。(合格証書番号と気象予報士登録番号は一致しませんから、合格証書番号から個人を特定できませんのでご安心下さい) 合格者は6,000円分のギフト特典もあります。なお、特典希望の方は受講期間後でも構いませんので、合格時はいつでも合格証書番号と講座体験談を送付下さい。(郵送・メールも可)

2：確認 (そもそも講師に大病など健康不安がある場合は募集自体行いません)

万一、担当講師が突然の病気や事故で、適切な実技担当講師が不在になり、当会が実技講座遂行が出来なくなった場合に受講期間中において、実技事例 13 問全てを提出終了していない場合は、一律、教材費以外の 50,000 円を返金、実技事例 13 問提出が完了しているが要望票が余っているときで且つ受講期間が 6 ヶ月を過ぎていないときは、20,000 円の返金を受講生に行うものとします。

3：確認

講座の資料、テキストは第三者に譲渡、複製を受講生が行わないものとします。天気図資料には受講番号がドット記号として数カ所に含めており、複製資料から受講生個人を特定する事が可能になっています。なお、個人の学習の為に複製は許可します。又、2 次的配布発見時には受講金額の 10 倍相当の著作権料を当会が請求、且つ天気図資料提供社から請求される著作権料相当を二重に支払う義務を負うものとします。

4：確認

気象予報士試験は諸事情で中止される場合があります。このような場合でも受講料の返還は致しません。(鳥インフルエンザ・新型ウィルス・震災・大規模災害・台風直撃等・テロリズム・その他の事情)

申込契約書 (控え：このページは返送不要)

申込みコースに○を記入して下さい。

	A：実技完全コース CD 音声解説標準付属	79,000 円	H/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V コース (すべて、コース内 1 事例当たり) 教材のみ： 3,960 円 教材＋質問 2 個： 4,510 円 教材＋CD 個人音声添削 5,500 円 (↑個人レッスン式答案添削音声) 希望事例： _____
	B：実技 13 事例・教材・ 質問 15 個・添削 →	52,500 円	
	教材＋質問 15 個 →	40,000 円	
	教材のみ →	32,500 円	
	C：作図系コース メール添付 PDF 版 →	9,900 円	
	印刷して発送版 →	11,000 円	

A コースで分割の場合は初回 **50,000 円** をご入金下さい。残金は翌月末から月末までに 10,000 円×3 回＝合計支払金：80,000 円となります。

A コース分割納入希望：有 無 (分割の場合は○をつけて下さい)

合計受講料金	_____ 円
希望コース	_____ コース (アルファベットを記載)

ここまで、控えとしてお持ち下さい。

A コース：受講料分割の予定：振込み日を記録しましょう

- 初 回：
- 2 回目：
- 3 回目：
- 4 回目：

備考：(別途有償ですが)

実技 A コースで学習した事例以外にも多数の事例があります。

次回の試験の出題範囲期間の新作事例を試験日 40 日前に数事例ほど新たに新制作した直前対策も例年販売しています。詳細はメールや HP 等でご確認ください。35 回試験・36 回・37 回試験・44 回・48 回・51 回・53 回・56 回試験は共に本試験事例日を予想的中もしくは同じ問題出題もいずれもありました。

ここまで資料としてお持ちください

申込本契約書 (ここから2枚4ページ分を返送下さい)

	A：実技完全コース CD 音声解説標準付属	79,000 円	H/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V コース (すべて、コース内1事例当たり) 教材のみ： 3,960 円 教材+質問2個： 4,510 円 教材+CD 個人音声添削 5,500 円 (↑個人レッスン式答案添削音声) 希望事例： _____
	B：実技13事例・教材・ 質問15個・添削 →	52,500 円	
	教材+質問15個 →	40,000 円	
	教材のみ →	32,500 円	
	C：作図系コース メール添付PDF版 →	9,900 円	
	印刷して発送版 →	11,000 円	

↑：申込みコースに○を記入。Aコースで、分割の場合は、初回50,000円をご入金下さい。残金は翌月以降の月末までに10,000円×3回＝合計支払金：80,000円となります。

○で囲む

★気象予報士試験受験支援会 出版著書はお持ちですか？ 一般・専門・実技

Aコース分割納入希望：有 無 (分割の場合は○をつけて下さい) 御入金先を○↓

合計受講料金	_____ 円	○で囲む	銀行・郵便局
希望コース	_____	コース	(アルファベットを記載)

署名または捺印 _____ 印 (署名のみでも可)

予報士の勉強歴 _____ 年

試験の受験回数 _____ 回

現在の合格科目 一般・専門 ○印を付けて下さい。

過去に合格履歴 一般・専門

天気予報の興味分 野

高校程度の数学 得意・普通・苦手

高校程度の理科 地学・物理・生物・化学 履修科目に○
(数理力が苦手でも実技科目では合格は普通に可能)

解説希望レベル 初級・標準・上級 ○印を付けて下さい。

学習出来る時間1週間平均あたり _____ 時間程度

〒番号 _____

住所 _____

氏名 _____ (ふりがな： _____)

年齢 _____ 才

電話 _____ (教材発送時に必要)

メールアドレス

(お持ちの方) _____ @ _____ 高速・低速

より良い講座を目指すために宜しければ以下のアンケートにお答え頂けると幸いです。(任意) 業種については単に市場調査が目的です。

質問1：気象予報士の資格を取る目的は？ ○で囲んで下さい。

- ①：現状の仕事に関連する。(業種をご回答下さい) _____
 - ②：就職活動(転職を含め)に有利になるため
 - ③：趣味・教養として
 - ④：気象関連業務に就くため
 - ⑤：その他(目的を自由に)
-
-

質問2：資格取得の意気込みは？

- ①：絶対に取得する
- ②：出来れば取得したい
- ③：1年位は取得のため努力
- ④：次回試験まで努力

質問3：他の主要講座のご経験はありますか？

- ①：(株)ハッレクス講座
- ②：(財)気象業務支援センター講座・講習会
- ③：ユーキャン講座
- ④：(株)クリアの講座
- ⑤：藤田塾様(大阪)
- ⑥：その他 _____

また、その受講についてご感想をお聞かせ下さい。(良い点・不満な点)

質問4：当講座に希望する事や要望・意気込みなどありましたらご自由に

受講契約項目同意書 返送またはメール添付下さい

受講希望者が募集枠以上居ますので、実技完全 AB コースを受講希望される場合は以下の全ての項目の同意が必要です。同意がある方のみ受講が可能です。署名もしくは捺印して下さい。

署名または捺印： _____

1：確認

2回以内の受験で合格された場合は、合格受講体験談を必ず提出して頂きます。

体験談は気象予報士試験受験支援会 HP などに無期限で掲載する事を承諾して頂きます。但し、氏名については「実名」、「イニシャル」表記を体験談提出時に選択できます。その際に合格証書番号を付加記載する事も同意します。(合格証書番号と気象予報士登録番号は一致しませんから、合格証書番号から個人を特定できませんのでご安心下さい) 合格者は6,000円分のギフト特典もあります。なお、特典希望の方は受講期間後でも構いませんので、合格時はいつでも合格証書番号と講座体験談を送付下さい。(郵送・メールも可)

2：確認 (そもそも講師に大病など健康不安がある場合は募集自体行いません)

万一、担当講師が突然の病気や事故で、適切な実技担当講師が不在になり、当会が実技講座遂行が出来なくなった場合に受講期間中において、実技事例13問全てを提出終了していない場合は、一律、教材費以外の50,000円を返金、実技事例13問提出が完了しているが要望票が余っているときで且つ受講期間が6ヶ月を過ぎていないときは、20,000円の返金を受講生に行うものとします。

3：確認

講座の資料、テキストは第三者に譲渡、複製を受講生が行わないものとします。天気図資料には受講番号がドット記号として数カ所に含めており、複製資料から受講生個人を特定する事が可能になっています。なお、個人の学習の為に複製は許可します。又、2次的配布発見時には受講金額の10倍相当の著作権料を当会が請求、且つ天気図資料提供社から請求される著作権料相当を二重に支払う義務を負うものとします。

4：確認

気象予報士試験は諸事情で中止される場合があります。このような場合でも受講料の返還は致しません。(鳥インフルエンザ・新型ウィルス・震災・大規模災害・台風直撃等・テロリズム・その他の事情)

母体組織：

気象予報士試験受験支援会（日本気象予報士会西部支部有志）

気象予報士試験受験支援会 講座運営 専任講師：

日隈 誠 気象予報士（通学講座 講師）

外部講座依頼 担当

荒山 幸裕 気象予報士（代表兼 一般・専門・実技部教材全制作 指導）

福岡大学 正課外気象予報士講座講師（平成 20・22・24・25・27・28・29・30 年度：担当）

ヒューマンアカデミー福岡校 7 年間、同校北九州校担当 3 年間、当会実技通学・通信講座担当、

「当会実技講座全教材制作、当会専門テキスト、当会一般テキスト制作」「著書：技術評論社出版 簡単らくらく気象予報士試験 シリーズ：一般・専門・実技を全執筆」

注意：当会教材は、ヒューマンアカデミー講座教材とは一切無関係で関わっていません。

その他、現業務関係者（気象庁 OB、日本気象協会 OB、現気象キャスター）

日本気象予報士会 西部支部会員の有志

資料入手先：気象庁本庁 OB の気象予報士事務所

個人情報の取り扱い

本講座で頂いた個人情報は、資料の発送や受講生の講座運営以外には使用しません。又、関係のない第三者に閲覧させることもありません。気象予報士試験受験支援会